

## 学習における辞書使用の現状とこれから —高校生と大学生の比較を通して—

- 石橋由梨（専修大学文学部） lm191061@senshu-u.jp  
野口武悟（専修大学文学部） takenori@isc.senshu-u.ac.jp

### ①研究背景と先行研究

#### ▶ 研究背景

#### 1. 「教育の情報化」の進展

- ・ 「GIGAスクール構想」の実現に向けて生徒一人一台端末の整備
- ・ モバイルICT端末を導入している学校の割合の急増

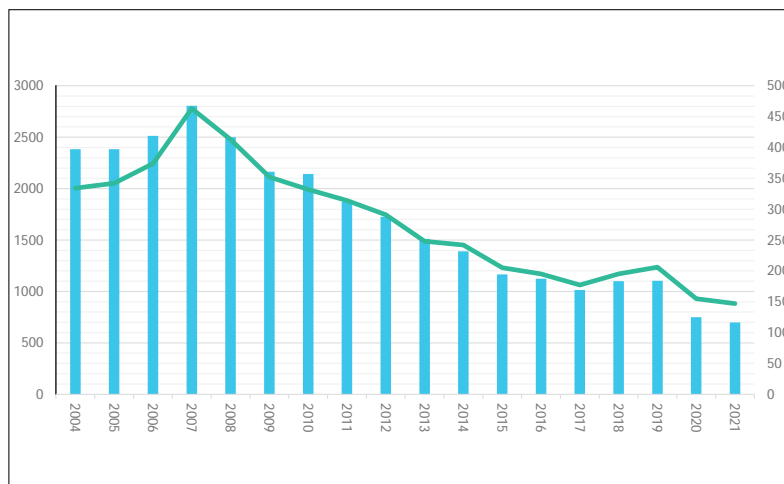
#### 2. 各媒体における検索速度や学習効果の相違

- ・ 紙の辞書→成績上位層と下位層に検索速度の差が有り  
電子辞書→検索速度に差は生じない（小林氏/筑波大）
- ・ 電子辞書とオンライン辞書では、課題の正答率・検索語数・所要時間のすべてにおいて電子辞書に軍配が上がる（小山氏/大阪大谷大、薮越氏/日本大）

▶ 先行研究

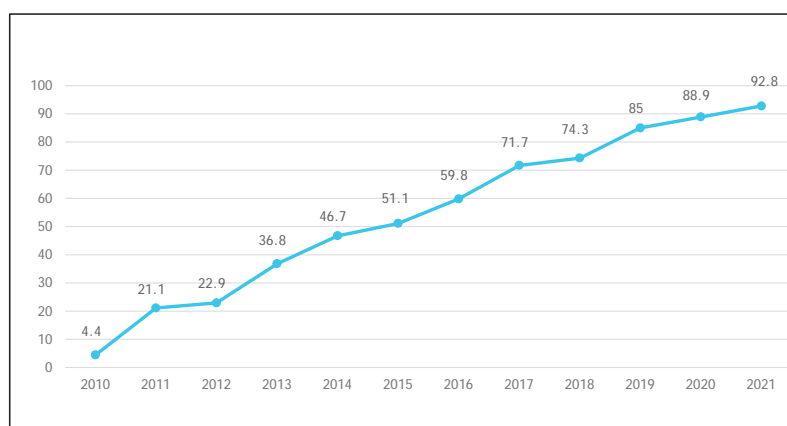
1. 電子辞書の年別出荷実績推移の調査

(一般社団法人ビジネス機械・情報産業協会 公表データより作成)



2. スマートフォン・ケータイ所有に関する動向

(NTTドコモのモバイル社会研究所 公表データより作成)



⇒電子辞書の出荷台数実績とスマートフォンの普及率に  
相関性があるのではないか

## ②目的

- ▶ 電子辞書は利用者が減少している
  - ▶ タブレット端末の普及率は徐々に増加している
- ↓
- ▶ 今後ますます教育の情報化が進む中、紙辞書や電子辞書は使われなくなってしまうのだろうか
  - ▶ 辞書の在り方はどのように変化するのだろうか

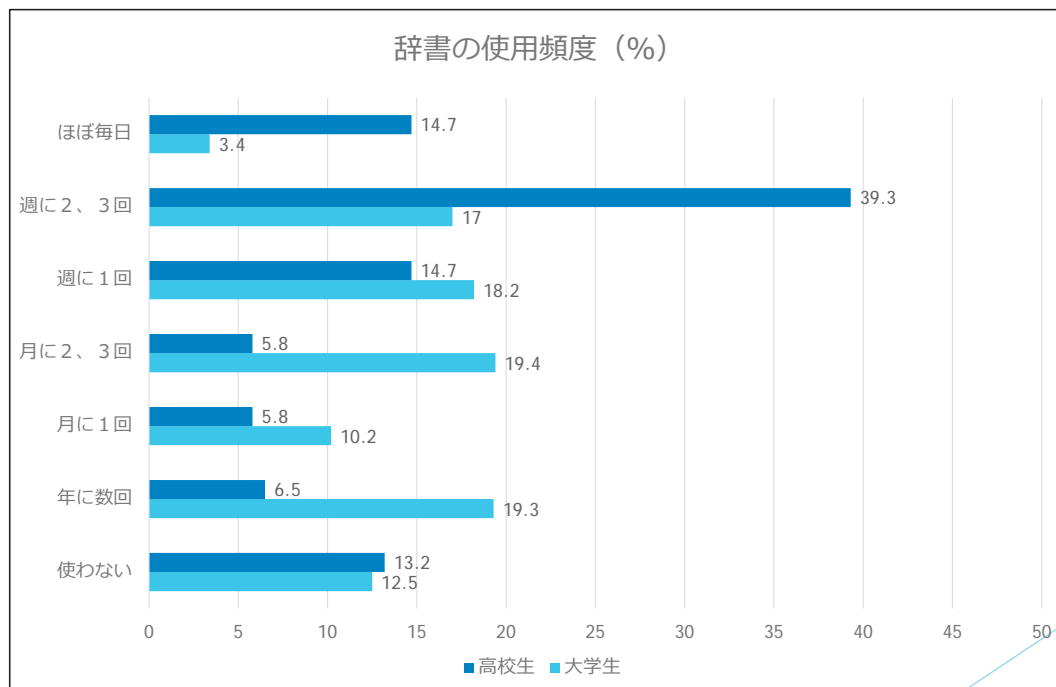
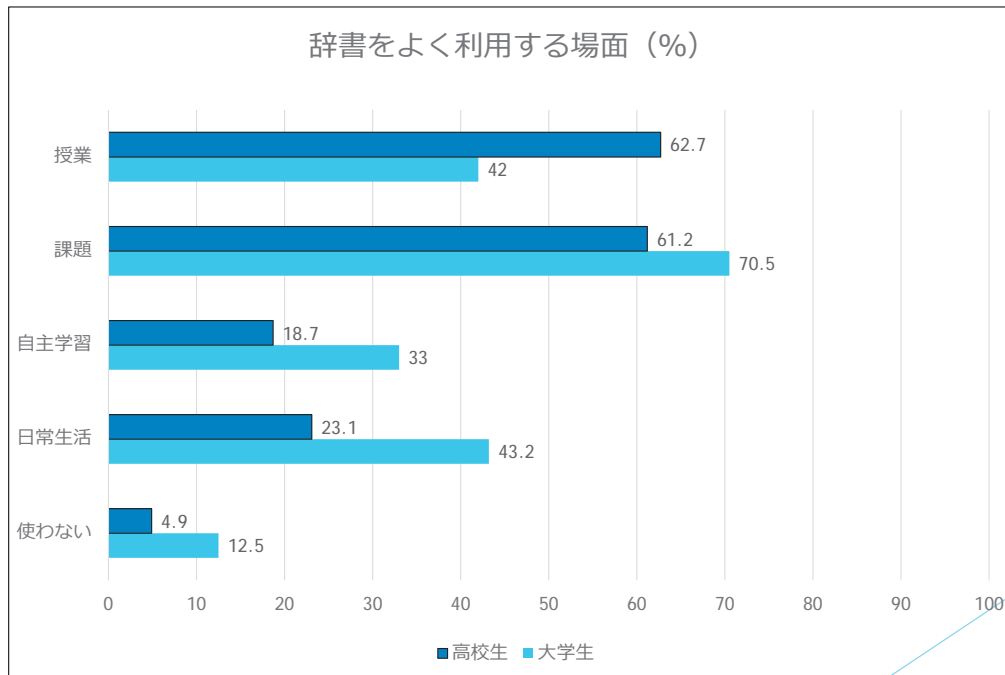
高校生と大学生における辞書の使用状況や辞書に対する認識を調査し比較することで、辞書使用の現状を明らかにすることを目的とする

仮説：タブレット端末の普及率や情報化の推進により、辞書を利用する機会が減少している

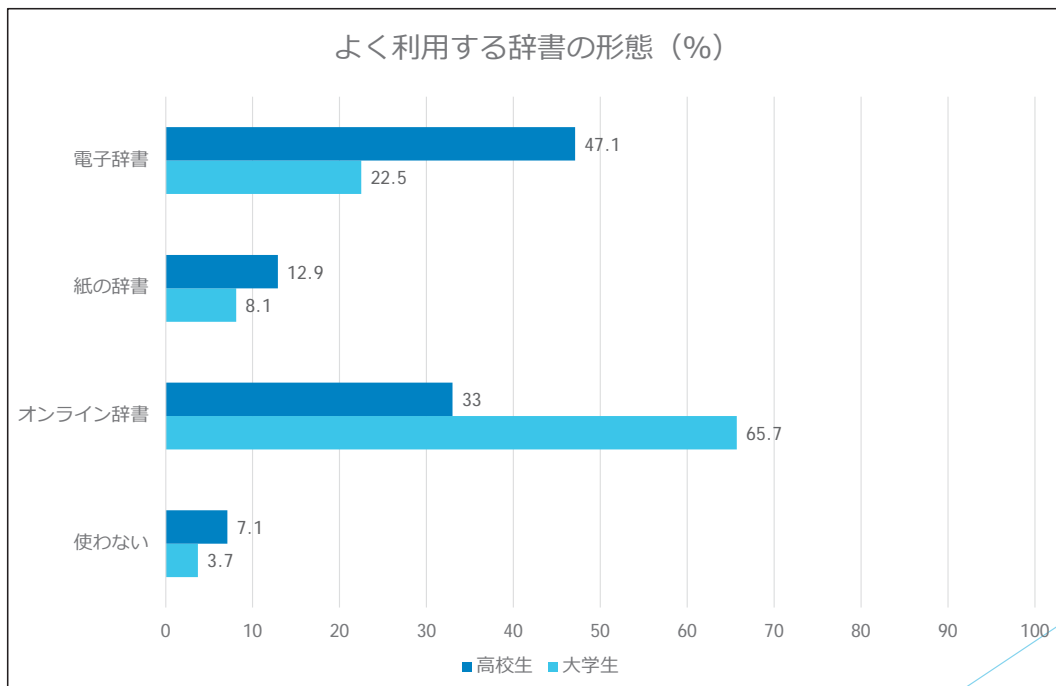
## ③方法

- ▶ Googleフォーム利用してアンケート調査を行った。
  - ▶ 対象：A大学の学生（88名）、B高等学校の生徒（134名）
  - ▶ 調査期間：2022年7月から10月
- ▶ 調査内容
- ① 学生区分（大学生または高校生を問う質問）
  - ② 辞書をよく利用する場面
  - ③ 辞書を利用する頻度
  - ④ よく利用する辞書の形態とその理由
  - ⑤ 学習時によく利用する辞書以外のツール
  - ⑥ 「辞書」を一言で言うと何か（辞書に対する意識）

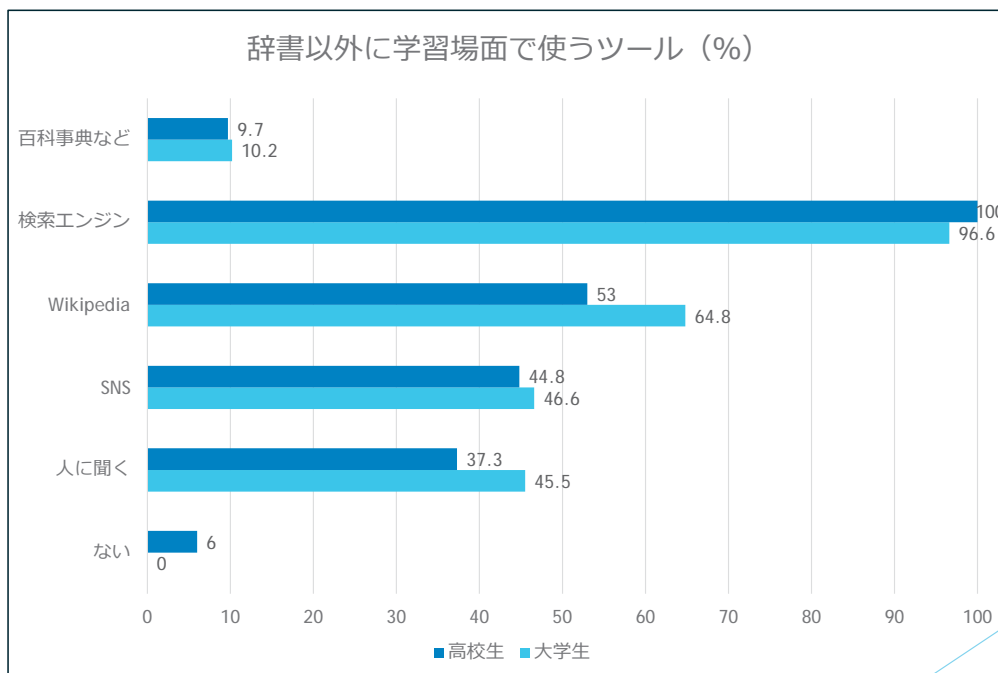
## ④結果



よく利用する辞書の形態 (%)



辞書以外に学習場面で使うツール (%)



	寄せられた回答 (一部抜粋)		寄せられた回答 (一部抜粋)
「モノ」の イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べるための便利道具</li> <li>・たまに役立つ物</li> <li>・言葉の説明書</li> </ul> 他75件	マイナスな イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重くて持ち運びにくい</li> <li>・文字が多くて見にくい</li> <li>・情報過多</li> </ul> 他15件
「頭脳」の イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の叡智の塊</li> <li>・知識を授けてくれる先生</li> <li>・課題をこなす時の相棒</li> </ul> 他78件	その他の イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事の検索方法の通過儀礼</li> <li>・アナログのGoogle</li> <li>・学生の証</li> </ul> 他31件
「読み物」 のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない単語を知れる本</li> <li>・教養の詰まった書物</li> <li>・図書館の凝縮版</li> </ul> 他8件		

## ⑤ 考察と結論

### ▶ 考察

#### 1. 紙や電子辞書使用の現状

- ・予想に反し、多数の人が学習時に紙や電子辞書を利用（約9割）
- ・「辞書」と言えば紙や電子辞書を思い浮かべる意見が多い
- ・しかし、手軽に調べられるオンライン辞書の使用率も高い

#### 2. 紙や電子辞書使用のこれから

- ・インターネットの発達により代替されるツールが増加
- ・ほとんど全ての回答者が学習に辞書以外のツールを利用すると回答
- ・オンライン辞書と二極化する可能性

▶ 結論

- ・ 現在も辞書は学習に広く使われている
- ・ しかし、主に使用されているのは電子辞書とオンライン辞書
- ・ 今やSNS等といった辞書以外に調べ学習に使うツールもある
  
- ・ 語句調べに特化している為、紙や電子辞書は辞書の美点を発揮しやすい
- ・ 辞書を「読み物」として楽しむ、といった意見も



今後、紙辞書や電子辞書はインターネットによって「学習時の必需品」という地位は奪われてしまうが、語句調べの手段や言葉を知るための読み物としてこれからも活躍され続けるため、完全には代替されない

## 参考文献（一部抜粋）

- ▶ 小林祐美(2020)、「小学生の語句調べにおける検索行動の検討—紙の辞書と電子辞書の比較を通して—」『全国大学国語教育学会国語科教育研究：大会研究発表要旨集139(0)』、219-222
- ▶ 小山敏子、薮越 知子「辞書検索行動の質的分析：予備実験」  
([https://www.osaka-ohtani.ac.jp/files/department/education/society/047\\_p01.pdf/](https://www.osaka-ohtani.ac.jp/files/department/education/society/047_p01.pdf/)  
最終アクセス：2022.10.5)
- ▶ 文部科学省、「教育の情報化～GIGAスクール構想の実現～」  
([https://www.mext.go.jp/content/20200626-mxt\\_kyoikujinzai01-000008282-5.pdf/](https://www.mext.go.jp/content/20200626-mxt_kyoikujinzai01-000008282-5.pdf/)最終アクセス：2022.11.1)
- ▶ 旺文社「全国の高等学校におけるICT活用実態調査（2022年度）」(<https://www.obunsha.co.jp/news/detail/701/> 最終アクセス：2022.11.16)